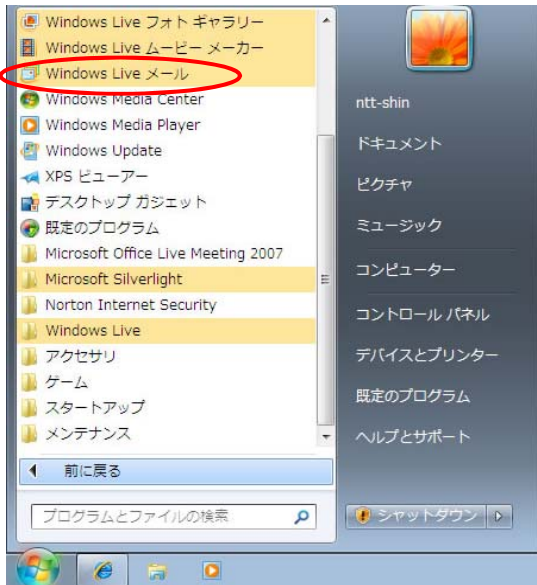


メール設定 (Windows7 版)

今回はWindows付属のメールソフト、**Windows Live メール**の設定方法を説明をしますので、別紙「メール設定用情報」を参照し、入力してください。

Windows Live メール の起動方法

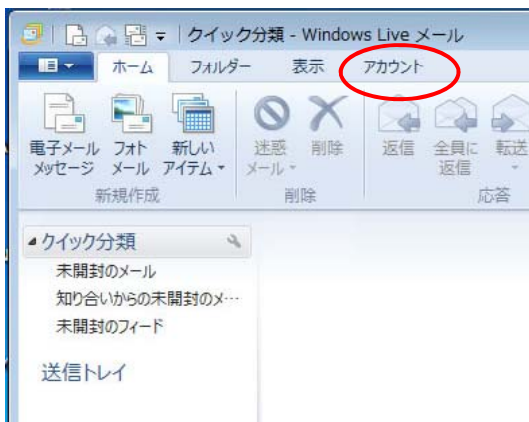


「スタート」をクリック

「全てのプログラム」を選択

「Windows Live メール」をクリック

メールソフト起動

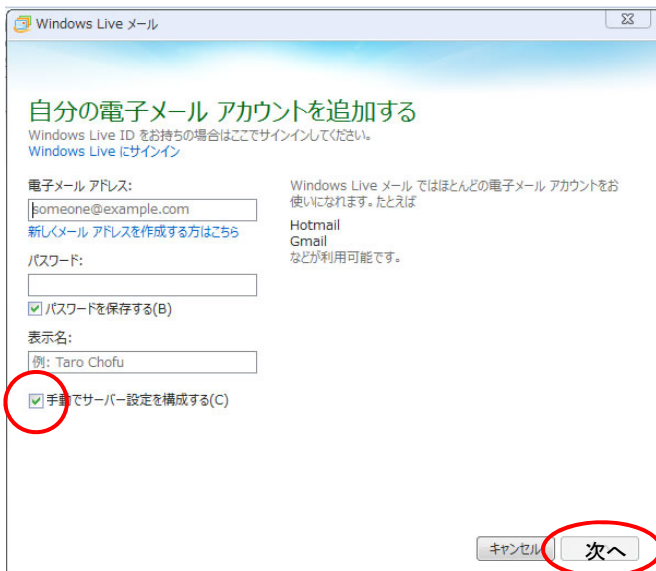


Windows Live メールを起動します。

上部メニューの「アカウント」を選択します。



「電子メール」を選択します。



「自分の電子メールアカウントを追加する」が表示され、メールアカウント作成のウィザードが始まります。

「電子メールアドレス」の入力

電子メールアドレス・・・

インターネット上の住所のようなものです。

〇〇〇〇@yabba.jp

の形になっています。

「パスワード」を入力

「表示名」を入力

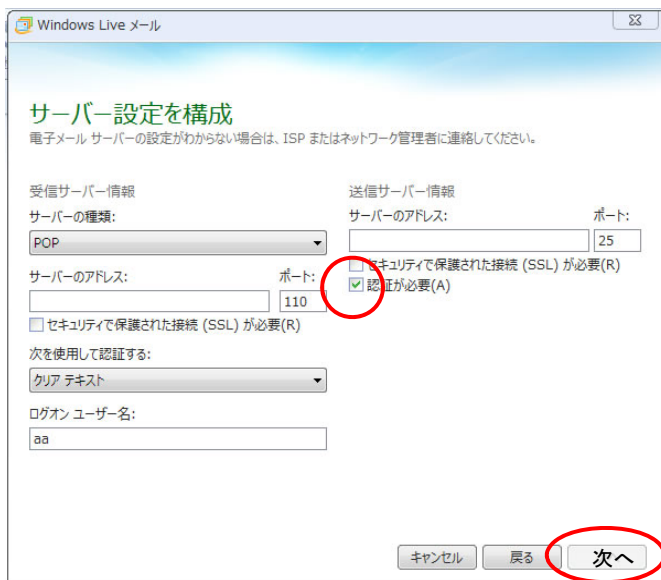
表示名・・・

メールを受信した人に

通知される送信者名です。

通常は自分の名前を入力します。

「手動でサーバー設定を構成する」にチェックを入れ、次へ。



「サーバー設定を構成」が表示されます。

受信サーバー情報

サーバーの種類

・・・「POP」を選択

サーバーのアドレス

・・・mail01.hosting-sv.jp

ポート・・・110

次を使用して認証する

・・・クリアテキスト

ログオンユーザー名

・・・アカウント名を入力



送信サーバー情報

サーバーのアドレス

・・・mail01.hosting-sv.jp

ポート・・・25から587へ変更

認証が必要 にチェックを入れる

入力が完了しましたら「次へ」をクリックして下さい。

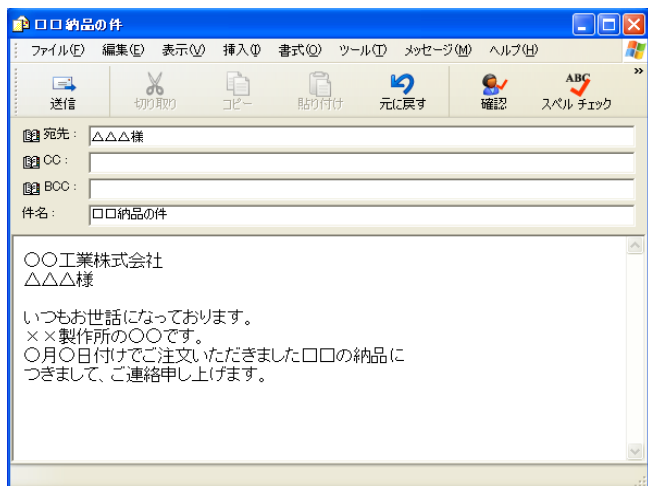
以上で、Windows Live メール2011の設定が完了しました。

メールの形式をテキスト形式にしましょう

メールの形式には「**テキスト形式**」と「**HTML形式**」があります。

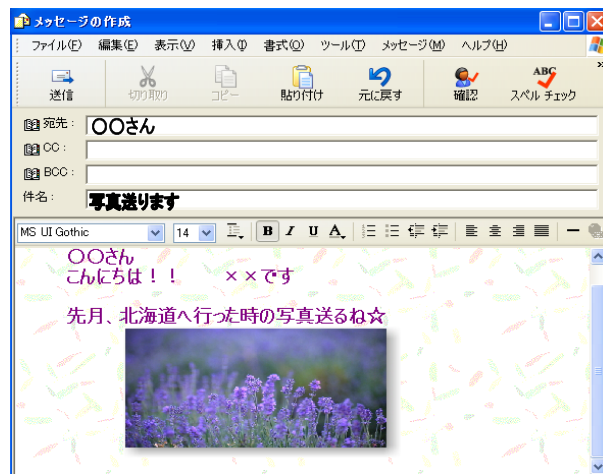
「テキスト形式」と「HTML形式」の違い

テキスト形式・・・



レイアウト情報や装飾情報を持たない、純粋に文字のみで構成される形式です。

HTML形式・・・



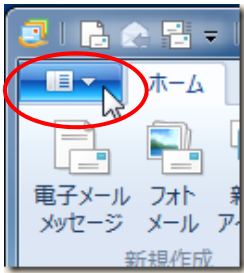
文字の色や大きさを変えたり、画像を文中や背景に貼り付けたり表現力に富んだメールを作成することが出来る形式です。

メールの形式を「テキスト形式」にする理由

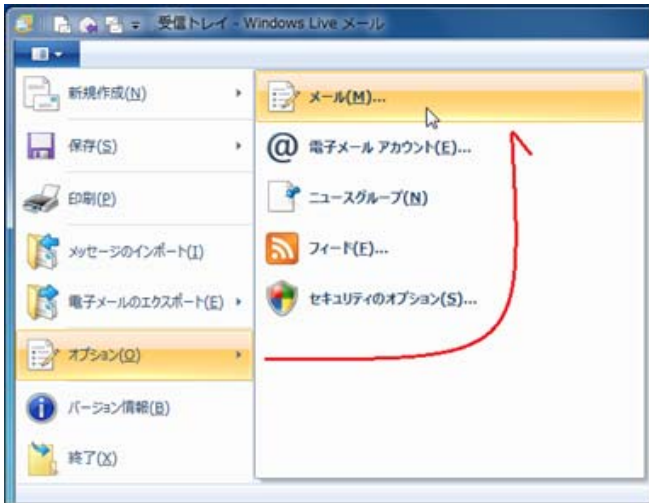
現在全てのメールソフトが、「**HTML形式**」メールに対応しているわけではなく、HTMLメールに対応していないメールソフトでは、暗号のように文字が混じって並んでしまい、読みにくくなったり、まったく読めなかったりという事が起こります。

お友達同士で「**HTML形式**」メールのやり取りをするのは相手方の了承を得た上でならいいですが、見知らぬ相手や仕事上で「HTML形式」のメールを送信するのはやめたほうがよいでしょう。下記の説明を読んで「**テキスト形式**」に変更することをお勧めします。

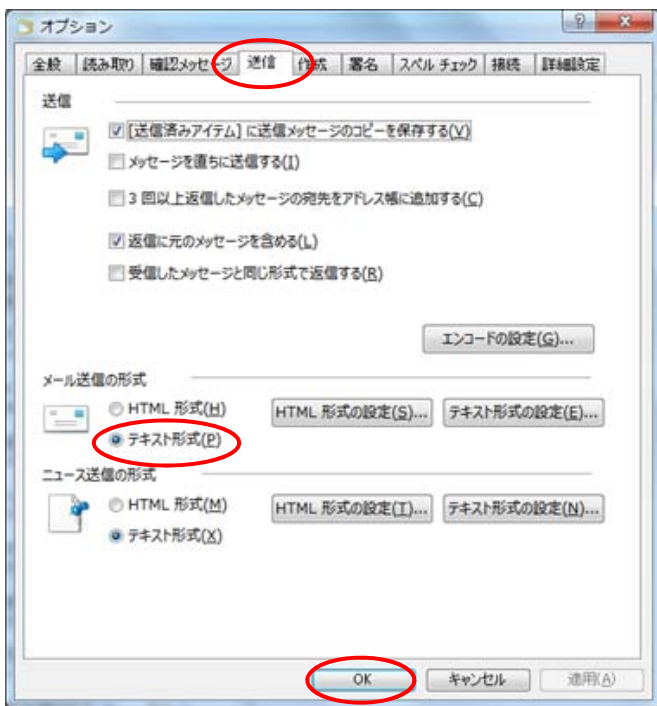
まずは、先ほどと同様に「Windows Live メール」をクリックし、メールソフトを起動させます。



上部メニューの「ツール」をクリックします



下方方向にメニューが表示されますのでその中の「オプション」から「メール」をクリックします。



「オプション」が開くので、「送信」をクリックします

上部メニューの「送信」をクリックします

「テキスト形式」にチェックを付けます

「OK」をクリック

これで設定は終了です。

これはメールを送るときのマナーにもなりますので気をつけましょう。